

佐藤弘隆

ゴーストペインター

HIROTAKA SATO : Ghost Painter

2021 2022
12.18 [土] → 1.23 [日]

10:00-17:30 *12月28日[火]は17:00、
1月23日[日]は15:00まで

休館日 | 水曜日・年末年始(12月29日[水]ー1月3日[月])

会場 | アートハウスおやべ 展示室1・2

入場料 | 無料

主催 | アートハウスおやべ [(公財) クロスランドおやべ]

後援 | 小矢部市教育委員会、小矢部市芸術文化連盟、北日本新聞社、富山新聞社、
読売新聞北陸支社、北陸中日新聞、朝日新聞富山総局、北日本放送、富山テレビ放送、
チューリップテレビ、FMとやま、エフエムとなみ、となみ衛星通信テレビ

協力 | 富山大学芸術文化学部

佐藤弘隆：ゴーストペインター HIROTAKA SATO : Ghost Painter

現代社会を支える科学技術一。それらは私たちの生活をより便利で豊かにするものであると同時に、使い方を違えば社会秩序を乱す道具にもなり得ます。今回の展覧会では、フェイク動画や著作権問題など、昨今のデジタル技術が孕む問題に焦点を当てたメディアアート表現に取り組む、佐藤弘隆の活動をご紹介します。

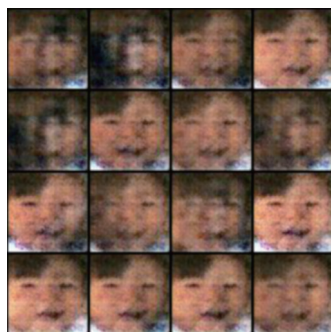
佐藤弘隆（1993年-）は、コンピュータや機械装置、映像、自然現象などの様々なメディアを複合的に組み合わせ、物事の因果関係や背後にあるプロセスを可視化するような表現を実践しています。

本展は、フェイク動画の製造に使われる人工知能のアルゴリズムを用いて、作家の幼少期の自画像を大量に生成するインスタレーション《ゴーストペインター》を中心に構成されます。ホームビデオから切り取られた断片的な映像素材を元に自画像が無尽蔵に増えていく様子は、記録とフィクション、現実と虚構の境界を私たちに強く意識させることでしよう。

作品を構成する技術的な要素やプロセスが重要な位置を占める佐藤の表現は、私たちが普段意識することの少ない物事のメカニズムや背景を考えるきっかけを与えます。本展ではこの他、ロボットアームが「書」を書く《表意文字のリバースエンジニアリング》などの近年の取り組みも同時にご紹介します。多角的な視点から同時代の科学技術を見つめる佐藤の作品世界を是非ご覧ください。

佐藤弘隆 Hiroataka Sato

1993年新潟県生まれ、富山県在住。富山大学大学院芸術文化科学研究科修了。主な展覧会に「Monster Exhibition 2017」hpgrp Gallery NewYork（ニューヨーク）、個展「昨日の敵は今日の友、今日の友は明日の敵」ギャラリー無量（富山）、「ART FAIR TOKYO 2018・2019」東京国際フォーラム（東京）など。



《ゴーストペインター》2021年（部分）



《表意文字のリバースエンジニアリング》より「山」と「月」, 2021年（部分）



《Buddhist Altar》2019年（参考図版）

アートハウス おやべ ARTHOUSE OYABE

〒932-0821 富山県小矢部市鷺島 10 クロスランドおやべ内
10 Washigashima, Oyabe-shi, Toyama Japan
TEL : 0766-53-5344 FAX : 0766-53-5844
<http://www.art-oyabe.jp>

【交通のご案内】

- あいの風とやま鉄道石動駅より小矢部市営バス（メルバス）津沢線・津沢方面行
または正得線七社方面行「保健福祉センター」下車、徒歩2分
- あいの風とやま鉄道石動駅より加越能バス若林線・砺波市役所前行「鷺ヶ島」下車、徒歩16分
- お車ご利用の場合：能越自動車道「小矢部東IC」より約7分（無料駐車場：800台）

